

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ②施設・事業所情報

|   |                                   |
|---|-----------------------------------|
| 名称：わらべ細谷戸保育園                            | 種別：認可保育所                          |
| 代表者氏名：大久保美由紀                            | 定員（利用人数）：70名（利用者71名）              |
| 所在地：〒246-0003 横浜市瀬谷区瀬谷町5945番地2          |                                   |
| TEL：045-301-1927                        |                                   |
| ホームページ：http://www.seishinfukushikai.jp/ |                                   |
| 【施設・事業所の概要】                             |                                   |
| 開設年月日：2020年4月1日                         |                                   |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人清心福祉会             |                                   |
| 職員数                                     | 常勤職員： 14名<br>非常勤職員： 11名           |
| 専門職員                                    | （専門職の名称） 名                        |
|   | 保育士： 14名                          |
|   | 栄養士： 3名                           |
| 施設・設備の概要                                | （居室数）保育室：8<br>（設備等）事務室、休憩室、給食室、倉庫 |

## ③理念・基本方針

1. 基本理念
  - ・子どもの最善の利益を目指します
  - ・保護者との関係を大切にします
  - ・子育て支援を行います
2. 基本方針
  - ・子どもが健康かつ安全で、情緒の安定した生活ができる環境を育成する
  - ・豊かな人間性を持った子どもを育成する
  - ・乳幼児の保育に関する意見・相談には、公的施設として基本理念「敬天愛人」をもって応じ、よりよい保育のために努力する。
3. 保育目標
  - 「安定した生活のもと、自信をもって遊べる子」
  - 「自分の気持ちを伝えられる子」
  - 「友だちを思いやり行動できる子」

## ④施設・事業所の特徴的な取組

- ・気持ちよく1日を過ごせる保育園を目指します
- ・子どもの声に耳を傾け気持ちを受け止めていきます
- ・職員が明るく意欲的に過ごし、子どもと一緒に楽しみながら豊かな心を育てます

我々は、社会福祉法人清心福祉会職員は、「敬天愛人」の言葉を仰ぎ、奉仕の精神、慈愛の心を育み、天から与えられた役割を果たすべく、社会福祉事業で平和な社会に向け

て貢献していきます。

「ほ」：ほほえみかわし  
「そ」：そだちゆくこころ  
「や」：やさしさはぐくみ  
「ど」：どの子どもかがやく

#### ⑤第三者評価の受審状況

|               |  |
|---------------|--|
| 評価実施期間        | 令和2年6月17日（契約日） ～<br>令和3年4月15日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 初回（ 年度）                                |

#### ⑥総評

◇特に評価の高い点

1) 自然に恵まれた環境を生かした戸外活動による保育

周辺の自然に恵まれた環境を活かし、自然を生かした戸外活動を積極的に行っています。数々の草花を観察したり、昆虫を捕まえて観察したりと、散歩に出かける度に、発見があり、保育士は喜びや感動を子どもたちと一緒に共感しています。

園庭の畑には、かぼちゃ・茄子・スイカ・パプリカ・トマトなどの野菜の苗を植えて育てています。収穫をした野菜をどうやって食べようかと、子どもたちと相談をして、野菜を育てて食べるまでの一連を体験することで、観察や食についての関心を深めるようにしています。

市の資源循環局の職員が来園し、野菜の廃材を使って有機肥料を作るリサイクル方法を学び、子どもたちの畑にも加えて成長の違いを楽しみにしています。自然と触れ合うと共に自然環も体験し、豊かな感性を育てています。

2) 「子どもの目線」「子どもの気持ち」による職員指導

保育の質の向上に向けて「子どもにとってどうだろう」という目線に立って、職員の意見を引き出すようにして、話し合うようにしています。

入園児に保護者から提出してもらった「児童票」や入園時の個人面談から家庭環境や子ども一人ひとりの特徴を把握しています。昨年度、市立保育園の担任から、一人ひとりの詳細な状況を引き継いでいます。

幼児期の終わりまでに育ててほしい「10の姿」から、「言葉による伝えあい・自立心・豊かな感性と表現」を選び出して、意識した保育を行っています。

日々の子どものエピソードを昼礼で把握して、その時の職員の関り等にも触れて、その情景が描けるよう「ミーティングノート」に記入し、職員全員が目を通して、職員会議で、全体が周知できるよう工夫しています。

子どもたちの希望を叶えているか、言葉かけにも配慮ができているかなど、保育の質の向上に向けた具体的な取り組みが行われています。

### 3)地域と一体になった保育園

園は地域交流を積極的に行っています。コロナ禍で中止せざるを得ない場合もあり状況が改善された時には直ぐに実施できるよう、地域の方々との連絡は途絶えさせないようにしています。

地域に根ざした保育を目指し、地域との交流を広げる機会を積極的に作っています。ボランティアを受け入れて地域交流を行っています。子どもたちに、よりよい保育を提供するために関係機関との連携を密にしています。自治会に加入して町内会イベントに参加することもあります。園庭開放や子育てお母さんの集い等で把握した福祉ニーズに基づいて、福祉サービスのノウハウ、専門的な情報の提供に取り組んでいます。

#### ◇改善を求められる点

##### 1)災害対策の一層の充実

園舎が平屋建てで土砂災害のない平野に設置されており、河川等にも遠いことから、園舎からの出火がない限り園内に留まることにしています。災害や事故等において、園長が不在時の場合の役割と責任を整備し、明確にする必要があると思われます。

同時に、大規模地震で建物倒壊の危険性がある場合は、細谷戸公園少年グラウンドを一時避難場所、相沢小学校を地域防災拠点として、保護者にも通知していますが、災害時の保護者との連絡としての、災害ダイヤル、災害用伝言版ダイヤル等の活用等の計画は未定であり、改善が期待されます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

令和2年4月より横浜市より民間委託を受けて、わらべ細谷戸保育園としての運営を始めました。横浜市職員の方々からのご指導を受けながらも、コロナ禍の中で、引継ぎしてきたことがおこなえなかったこともありました。

一年目にして、第三者評価を受けましたことで、アドバイスを教えて頂き、よりよい保育に生かしていこうと思います。どうもありがとうございました。

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり